令和6年9月

令和5年度　　岐阜県加茂郡富加町

新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した事業について

1　交付金の名称

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

2　富加町の交付金額

交付決定額	39,479	千円
交付額	39,479	千円

3 令和5年度
新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実績と効果検証

No	事業名	目的・内容	実績	事業費（円）	交付金活用額（円）	事業期間	担当課による効果検証	担当課
1	電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金	目的：コロナ禍における物価高騰の影響を大きく受けている低所得世帯の負担を軽減する。 内容：令和5年度分の住民税均等割非課税世帯に対し、1世帯あたり給付金30千円を支給する。	・支給件数　373件	12,084,608	12,084,000	R5.6～R5.12	物価高騰の影響を大きく受ける低所得世帯に対して支援金を給付することで負担を軽減することができた。	福祉保健課
2	とみか元気振興券配布事業（その５）	目的：地域振興券を町民に交付することで、コロナ禍における物価高騰の影響を受けている家庭の家計を支援する。 内容：全町民に3,000円分の地域振興券を交付する。	交付者数 5,767人 交付額 3,000円×5,767人=17,301,000円 換金負担金 16,746,500円 使用率 96.8%	18,611,386	16,122,000	R5.6～R6.1	町内の事業所において、16,747千円の振興券が使用され、物価高騰の影響を受けている地元消費の拡大・活性化及び町民の家計の支援に寄与することができた。 また、使用率が96.8%と高いことから、実施方法についても概ね適正であった。	産業環境課
3	高齢者のための元気振興券配布事業(その２)	目的：高齢者に、地域振興券を交付することで、コロナ禍における物価高騰の影響を受けている高齢者の家計を支援する。 内容：75歳以上の高齢者１人当り3,000 円分の振興券を交付する。	交付者数 1,005人 交付額 3,000円×1,005人=3,015,000円 換金負担金 2,918,000円 使用率 96.8%	3,057,310	2,194,000	R5.9～R6.1	町内の事業所において、2,918千円の振興券が使用され、物価高騰の影響を受けている地元消費の拡大・活性化及び高齢者の家計の支援に寄与することができた。 また、使用率が96.8%と高いことから、実施方法についても概ね適正であった。	産業環境課

No	事業名	目的・内容	実績	事業費 （円）	交付金活用額 （円）	事業期間	担当課による効果検証	担当課
4	省エネ家電促進事業(その2)	目的：省エネ性能をもつ家電への買換え費用の一部を補助することで、コロナ禍における物価高騰の影響を受けている家庭の家計を支援する。 内容：省エネ家電の購入者に対し補助金を交付する。(テレビ分30千円・LED照明分5千円)	・支給件数 テレビ 19件 LED照明 17件	483,000	483,000	R5.6～R5.12	省エネ家電への買い替えを促進することで、生活者支援及び地球温暖化防止に寄与することができた。	産業環境課
5	介護施設等物価高騰重点支援給付金	目的：コロナ禍における物価高騰で食材費や光熱費の値上げにより負担が増加している介護施設等に支援金を交付して負担を軽減する。 内容：介護保険施設、認知症グループホーム、障がい施設に支援金を交付する。(介護保険施設300千円・その他事業所100千円)	・支給件数　6件	1,000,000	1,000,000	R5.6～R5.8	介護施設等に支援金を交付して支援することで、各種施設の安定した運営に寄与することができた。	福祉保健課
6	美濃加茂市学校給食センター運営費負担金増額分	目的：コロナ禍における物価高騰により値上がりした給食材料費の増額分を保護者が負担することなく、町の負担金として給食センターに支払うことにより、小中学生の子を持つ世帯の負担を軽減する。 内容：学校給食センターにおける、給食材料費の増額分を町で負担する。	・学校給食センター費負担金のうち、物価高騰分1,959,750円に臨時交付金を活用	1,959,750	1,959,000	R5.4～R6.3	物価高騰による給食材料費の増額分を町で負担することにより、小中学生の子を持つ世帯の負担を軽減することができた。	教育課

No	事業名	目的・内容	実績	事業費（円）	交付金活用額（円）	事業期間	担当課による効果検証	担当課
7	町内子育て施設オムツ購入	目的：とみかこども園及び、りんご保育園とみかで使用するオムツを町で支給することにより、コロナ禍における物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯の負担軽減を図る。 内容：通常、通園時に持参しているオムツを施設において購入して使用する。	・オムツ購入	1,158,300	579,000	R5.4～R6.3	保育園で使用するオムツを支給することで、コロナ禍における物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯への生活支援となり、子育て世帯の負担を軽減することができた。	こども課
8	学校教材費用等支援補助金	目的：コロナ禍における物価高騰により教材等の価格が高騰し保護者の経済的負担が増大しているため、補助金を交付することで小中学生の子を持つ世帯の負担を軽減する。 内容：小中学生の保護者に対して、児童生徒一人当たり5,000円の補助金を交付する。	・支給件数 生徒児童 519人分	2,595,000	2,595,000	R5.6～R5.11	教材等の価格高騰により負担が増加した保護者に補助金を交付することで、小中学生の子を持つ世帯の負担を軽減することができた。	教育課
9	元気米配布事業(その3)	目的：コロナ禍における物価高騰により家計への負担が増加した子育て世帯に対し、米を配布して支援する。 内容：0歳から高校3年生（年齢）の子どもがいる子育て世帯に対して、子ども1人あたり10キロの米を支給する。	対象世帯:563世帯 配布:1,056袋	3,264,480	2,463,000	R5.12～R5.12	子ども一人あたり10kgの米（富加町産ハツシモ）を配布することで家計を支援した。 あわせて町内生産米を配布することで、地域農業・地域農産物をＰＲし、地元消費の拡大と富加町の農業振興に寄与することができた。	産業環境課
計				44,213,834	39,479,000			